

【めあて—まとめ・振り返りのある授業づくりの提案】 主体的な学びにつながる「めあて」を作る

中級

- 本時のゴールイメージから「めあて」を構想している。
- 「まとめ」と「めあて」が正対している。
- 子供の疑問や気付きをもとに「めあて」を設定し、提示している。



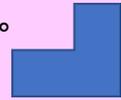
先月お示したチェックリストの「めあて」について、初級から中級へステップアップするためのポイントを紹介します。

まずはここから…本時のまとめを考える！

第4学年 算数 面積

学習指導要領解説等をもとに本時目標を設定 → **本時目標を達成した子供を想定し、本時の「まとめ」を子供の言葉で設定する。**

- <まとめ>
- ・ 図形を長方形や正方形に分けたり、移動したりして、面積を求める。
 - ・ 図形を補って長方形や正方形にしてから、補った部分をひいて面積を求める。



めあてを作るプロセス（例）



子供たちの疑問や気付きから「めあて」を引き出すには、どのようにすればよいのだろう…。

その1

学ぶ必然性を高めるため、問題提示を工夫する

(例) 封筒に図形を入れて少しずつ動かす。



この図形の面積を求めることはできますか？

長方形の公式を使って簡単に求めることができます。



もっと出てきたら正方形になるかも。

その2

これまでの学習との相違点や共通点を問う

本当に簡単ですか？この図形ですよ！



えっ…長方形じゃない。長方形が欠けています！！



このような図形の面積を求めることができるのかな？

これまでの学習と違うところや似ているところはありますか？



長方形でも正方形でもないので、公式が使えません。



長方形や正方形がくっついているように見えるので、似ていると思います。



チャレンジしたいな
早く問題を解きたいな

今日の学習のめあてはどうしますか？



長方形が欠けたり、くっついたりしている図形の面積の求め方を考えたいです。



<めあて> 長方形や正方形が欠けたり、くっついたりしている図形の面積の求め方を考え、説明しよう。

「えっ」という驚きを引き出す問題提示を工夫することで、子供たちの「解いてみたい」「何とかして解決したい」という意欲が高まり、学びが主体的なものとなります。さらに、これまでの学習との相違点や共通点を問うことで、解決の糸口をつかむことができます。このようなプロセスを通して、子供たちとともに「めあて」を作ることが中級へのステップアップにつながります。